



かごしま 市民のひろば

2009年(平成21年) 第510号

人とみどりが
輝くまち
かごしま



市の人口(推計)
平成21年10月1日現在(前月比)

人口総数	605,424人 (+173)
男	280,878人 (+135)
女	324,546人 (+38)
世帯数	264,893世帯(+215)



■編集と発行
鹿児島市広報課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL.099-224-1111(市役所代表)
TEL.099-216-1133(広報課直通)
FAX.099-216-1134
Eメール
kouhou4@city.kagoshima.lg.jp

■ホームページ
<http://www.city.kagoshima.lg.jp>
「かごしま市民のひろば」は市のホームページでもご覧になれます

■携帯版ホームページ
<http://www.city.kagoshima.lg.jp>

バーコードリーダー付きの携帯電話で、右の二次元コードを読み取るとアクセスできます



■配布に関するお問い合わせ
南日本リビング新聞社
TEL.099-239-8124

【主な内容】

特集

お届けします

安心・安全でおいしい氷… 8・9

●市政総合…………… 2～4

・新型インフルエンザ情報

・かごしまITフェスタ2009

・まちなかサロンオープン

●イベント・講座…………… 5～7

・ふるさとのまつりで実りの秋を満喫

・締め切り間近!ぐるっとかごしまスタンプラリー

・2009市電・市バスゆーゆーフェスタ

●暮らしのガイド…………… 10・11

・知って得する計量管理体験

・地上デジタル放送受信の各種支援制度

●健康・福祉…………… 12・13

・ボランティア入門講座

・プラス1料理教室

●すこやか鹿児島っ子…………… 14・15

・入園者募集 市立幼稚園

・会員募集 ファミリー・サポート・センター



先月17日・18日、「アジアを、むすぶ」をキャッチフレーズに “アジアん鹿児島2009 第4回かごしまアジア青少年芸術祭”が開催されました。

中国、韓国、マレーシア、シンガポール、バングラデシュの5カ国から6団体約130人の青少年が参加。音楽祭やステージ、日本文化体験などを通じ、言語や文化を超えアジアと市内の青少年の心と心が結ばれた2日間となりました。

市民とともに

鹿児島市長
森博幸

■新生鹿児島市 合併から五年

平成十六年の隣接五町との合併から、今月でちょうど五年になりました。速やかな一体化と均衡ある発展という目標を掲げ、鹿児島市の新たなまちづくりの懸念に取り組んできました。「合併したときは不安があったが、市になって一体感が高まった」「少しずつではあるが、市の施策に関心が沸くようになった」という声がある一方、「大きくなって細部までまだまだ一体化はできていない」など、合併について市民の皆さんのさまざまな意見をいただいています。

先日の吉田地域での「市長とふれあいトーク」は、旧五町地域で十三回目の開催でしたが、毎回感じることが、合併をして本当に良かったと実感できるまちづくりを引き続き着実に進めていくことが、最も大切なことであり、そのことが六十万市民みんなの願いだと思っています。

旧五町の多彩な地域資源が加わり、それぞれの特色を生かした本市の魅力がさらに高まっていくことで、市民の皆さんが住んで良かったと思える、まさに市民が主役の市政を、これからも推進していきたいと節目を迎えて改めて強く思うことでした。

■向田邦子展に寄せて

秋色が深まり行く城山の麓、鹿児島にゆかりのある作家やその作品を紹介しているかごしま近代文学館では、向田邦子生誕80年を記念して、特別企画展「向田邦子展」(彼女)のすべて26のキーワードを、開催中です。

ご案内のとおり、本市で二年余りを過ごした向田さんは、当時の数々の思い出を懐かしみ、鹿児島を「故郷もどき」と、特別な思いを寄せています。そんな縁で向田家から関係資料約九千三百点の大半を寄贈いただき収蔵する同館は、名実ともに向田文学の故郷であると言えます。



今回の特別企画展では、直筆の原稿や構想メモ、遺愛の品々、初公開となる本人の肉声テープなど、これまで常設展示では紹介されていなかった貴重な資料約四百五十点を通して、向田文学の魅力を紹介するとともに、彼女が好んだ食べ物や、服や靴、小物などにもスポットを当て、その生き様に迫ります。今もなお多くの人に愛され続けている向田さんの魅力をご理解いただけるものと思います。

(大切なものは保存しておきましょう)